

ストーカー行為等の規制等の在り方に関する有識者検討会 報告書概要

ストーカー行為等の現状及び検討の方向性

1 ストーカー行為等の現状

- ・ 認知件数、検挙件数、警告・禁止命令等の件数は、いずれも法施行後最多
- ・ 平成25年ストーカー規制法改正
- 依然として重大事案が発生
- 警察・関係機関が更に一歩踏み込んだストーカー対策を行うことが求められている

2 検討の方向性

- 被害者支援団体、ストーカー事件御遺族等からヒアリングを実施
 - 現行のストーカー規制法はストーカー対策に一定の効果を有しているが、
 - ・ ストーカー規制法によるストーカー行為等の規制を更に有効なものとするためにはどうすればよいか
 - ・ ストーカー行為等の規制に限らず、どのような効果的な対策を行うことができるか
- という方向性から、ストーカー対策の在り方全般について幅広く議論

ストーカー行為等の規制の在り方

1 規制対象行為の拡大等

- (1) SNSを利用したつきまとい等
 - ・ SNSを用いたメッセージ送信をつきまとい等として法の規制対象とすべき
 - ・ 将来を見据えて意思の伝達手段を包括的に規制する方向で検討すべき
- (2) 「はいかい」行為
 - ・ 「はいかい」行為を法の規制対象とすべき
- (3) 目的要件
 - ・ 目的要件を撤廃する必要性、撤廃した場合の問題点等について、今後の課題として更なる研究が必要

2 禁止命令等の制度の見直し

- ・ 必要な手続を確保しつつ、現場においてより迅速かつ効果的な命令を発出できるよう総合的に検討すべき

3 ストーカー行為罪の罰則の強化等

- (1) 罰則の強化
 - ・ 国民生活に重大な脅威を及ぼしているストーカー行為の抑止を図るため、刑法等の罰則との均衡に配慮しつつ、罰則を引き上げるべき
- (2) 非親告罪化
 - ・ 現在では、ストーカー行為は重大な犯罪につながるおそれ強いものと認識されていることや、被害者保護のため迅速な捜査・取締りが求められていることから、非親告罪とする方向で一層の議論がなされるべき
- (3) 常習累犯規定
 - ・ ストーカー行為自体が行為の反復を予定していること、刑法の再犯加重規定との関係等を踏まえれば、慎重な議論が必要

加害者対策の在り方

- ・ 精神医学的・心理学的手法に関する調査研究を推進し、より効果的な加害者対策につなげることを期待
- ・ 関係省庁、医療機関等が連携の上、様々な段階で加害者に更生プログラムを実施することなどについて検討すべき

被害者等を支援するための取組

警察だけでなく、司法・福祉・医療・教育等の関係機関、民間団体等も積極的に関与し、社会全体で行なわなければならない

1 支援体制の整備

- (1) 警察における体制整備
 - ・ 相談・保護等へ対応するため、ストーカー事案を担当する警察官を大幅に増員するべき。被害者の多くは女性であることなどを考慮すれば、特に女性警察官を中心とした体制の抜本的増強を図ることを検討する必要
- (2) 各機関における体制整備
 - ・ 関係機関による積極的な情報提供、支援機能の大幅な拡大・充実が必要
 - ・ 被害者支援の中心的役割を果たす機関について検討すべき

2 被害者の一時避難等の支援

- ・ 一時避難場所を確保するために必要な連携体制整備等の措置、長期的避難のための支援措置の在り方を検討する必要
- ・ ストーカー被害者の経済面からの支援方策も検討すべき

3 被害者情報の保護

- ・ 職務関係者による被害者の秘密保持を徹底するための取組を推進する必要
- ・ 住民基本台帳閲覧制限等支援措置の厳格な運用を図る必要
- ・ 被害者情報が行為者に渡ることを防止するための措置を検討すべき

4 被害者等に対する情報提供等

- ・ 警察や関係機関による事案の特徴、自己防衛手段等の周知・啓発が必要
- ・ 被害実態等の把握のための調査研究の推進について検討すべき

5 ストーカー予防のための教育等

- ・ 教育現場におけるストーカーの被害者にも加害者にもならないための具体的な教育を推進する必要
- ・ 教育指導を適切に実施し、子供からの相談に適切に対応するためには、教員に対する研修も必要

つきまとい被害に関する実態調査

【加害者との関係】

面会や交際の要求

結婚相手・元結婚相手	2.3%	親・親戚・兄弟姉妹などの親族	1.7%
交際相手・元交際相手	26.4%	親の交際相手	0.4%
交際相手や結婚相手の関係者	2.8%	近隣住民・地域活動や習い事の関係者	5.5%
学校や大学の関係者	17.5%	まったく知らない相手	6.3%
職場やバイト先の関係者	24.2%	知っているかどうか分からない相手	4.1%
職場やバイト先の客	10.2%	その他	6.6%
SNSなどで知り合った人	8.8%	「ストップ!つきまといプロジェクト」調査チーム実態調査より	

【希望する取り組み】 「ストップ!つきまといプロジェクト」調査チーム実態調査より

警察の相談体制の拡充	38.8%
迷惑行為と認定されやすくなる法整備	32.6%
加害を繰り返してしまう人が相談できる仕組みづくり	18.2%
加害者への治療プログラムによるつきまとい感情の解消	13.3%
出所後の加害者情報を知れる仕組み	15.9%
一時避難が可能なシェルターの拡充	17.1%
引っ越しなど生活再建のための資金援助	18.7%

調査方法：インターネット調査（モニターサンプリング形式）

調査対象：東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県の20～59歳の男女

調査期間：2020年12月～2021年1月 調査規模：9,000人にスクリーニング調査

有効サンプル数: 8,822人。

出所：「ストップ!つきまといプロジェクト」調査チーム
代表 荻上チキ

5. 民間シェルター先進的取組事例調査結果（5 / 6）

（4）交付金活用事業の実施を通して感じた課題（調査への回答から抜粋）

財政面

- 人件費がほぼないため団体全体の管理を専任で行っているものはいない。そのため、団体の代表が管理しており、オーバーワーク気味になっている。代表含め、スタッフの約 8 割がシェルターとは別で仕事をもっており、その合間でシェルターの活動をしている。専従スタッフを置くことができるように人件費の補助があるとありがたい。
- 人件費について、有資格者のスタッフが支援者として施設に 1 泊する場合や、利用者支援の一環で同行した場合に一定の金額を支給している。しかし、これらの金額は各資格保有者の人件費としては不十分。
- 事業を継続していくためには経済的な資源が必要だが、このままでは今後は事業を縮小していかなくてはならない。

人的基盤

- 支援の幅の拡大や、より丁寧な支援を行うことでよりよい支援ができるが、その分スタッフの負荷は高まるため、スタッフの人員を増やすことが出来るとよい。
- ステップハウスを運営するスタッフは、ただアパートの管理ができれば良いということではない。本来であれば社会福祉士などの専門職を配置したいが、人件費を払うことが難しいため、配置も難しい。
- それぞれ専門性のあるスタッフが自らの経験と知見に基づき関わっているが、スタッフがシフトによって入っているため、統一感を欠く場面もある。このことで、支援のばらつきが出て、入所者のケースによっては、混乱させてしまうことがある。

その他

- 民間団体と行政機関が連携をとる際、責任の所在があいまいになることを懸念し、行政機関が民間団体との連携に難色を示すケースがある。切れ目ない支援を行う上で、行政と民間どうすれば連携を取りながら支援をできるのか検討していくことが必要。
- 同伴児童については料理教室に親子連れで参加してもらうことがあるが、子どもたちへの支援をどのように行っていくかについては今後の課題である。シェルターを出た後に道を踏み外す子どもも少なくない。

協力を得た機関の概要

	ほっとステーション	男女問題解決支援センター	ヒューマニティ
活動目的	精神科デイケア、障害者グループホーム、生活訓練事業、就労支援等の実施	男女間の問題に対する円滑な解決、当事者等の苦悩に向き合う	相手のある問題、人生上の悩み等に取り組み、心のケアから問題対処における取組までをサポートする
法人格	医療法人社団	一般社団法人	NPO法人
所在地	北海道	東京都	東京都
スタッフ	精神科医、精神保健福祉士、看護師等	精神科医、臨床心理士等	カウンセラー、セラピスト等
加害者からの相談費用	健康保険適用	臨床心理士による初回面談 無料 臨床心理士面談 12,600円／回 精神科医面談 その都度考慮	初回回答 無料 面談 10,800円／1時間 メール 10,800円／5往復 ※一時利用の場合
主な対応	精神療法、薬物療法、条件反射制御法、リワークデイケア等	認知行動療法(心理療法)等	カウンセリング、事態への介入、医療機関の紹介、付き添い等
連携先等	弁護士、司法機関、就労関係者、行政機関等	弁護士、病院等	弁護士、被害者支援団体、病院、警備会社、調査会社等

出所：平成28年3月

警察庁 ストーカー加害者に対する精神医学的・心理学的アプローチに関する調査研究報告書

加害者アプローチ実施状況一覧（令和２年中）

	働き掛け (人)		
北海道	117	三重	2
青森	4	滋賀	2
岩手	3	京都	8
宮城	5	大阪	51
秋田	4	兵庫	5
山形	5	奈良	2
福島	1	和歌山	11
警視庁	26	鳥取	1
茨城	43	島根	1
栃木	41	岡山	2
群馬	13	広島	0
埼玉	22	山口	11
千葉	4	徳島	8
神奈川	24	香川	0
新潟	6	愛媛	1
山梨	2	高知	1
長野	3	福岡	140
静岡	98	佐賀	1
富山	2	長崎	0
石川	0	熊本	10
福井	25	大分	24
岐阜	7	宮崎	91
愛知	43	鹿児島	2
		沖縄	10
		合計	882

ストーカー対策の流れ

配偶者からの暴力等（DV）対策の流れ

